



GOVERNORS'S MONTHLY LETTER

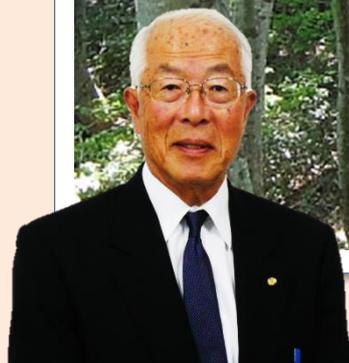
2013-2014

Rotary

International

District

No.4



ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627

新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

TEL 0254-28-8822 FAX 0254-28-8826

E-mail: k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ	1
ガバナーメッセージ	2
第1回 ロータリー財団セミナー 報告	3
米山奨学生親睦交流会 報告	4
佐々木ガバナーエリート事務所 開所式	5
第2分区 IM 報告	6
第5分区 IM 報告	7
青少年夏期交換帰国 報告	8
ハイライトよねやま162	9
ロータリー文庫	11
第2560地区 2013-2014年度8月末 会員数および出席報告	12
裏ページ	13

『職業奉仕月間 並びに 米山月間』によせて

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー
山崎 堅輔 (中条 RC)



秋色漸く深まり、実りの秋を迎えております。
過ぎ去った夏の暑さが懐かしくなってきます。
それにしても記録的な暑さとゲリラ豪雨、そして台風が各地に残した爪跡は惨憺たるものでした。被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

地球が誕生して以来、今日の地形が形成されるまでの何十億年の間、このようなことが、どれ位繰り返されて来たことでしょうか。そしてこれからも、人類が生きている限り、地震、風水害に耐えてゆかねばならない宿命を背負っている訳です。
会長幹事の皆様にはご奉仕ご苦勞様です。

8月の末に米山奨学生親睦交流会に参加しました。奨学生とカウンセラー、そして地区委員の皆様との親睦を深めて来ました。
このような行事に参加することにより、米山記念奨学生の制度そのものが、より身近に感ずる良い機会となりました。
設営にご苦勞頂いた担当委員の皆様に対し深く感謝申し上げます。

今月は職業奉仕の月間でもあります。
職業奉仕に関するロータリーの文献はいろいろございます。この際、どれか一つ紐解いて、職業奉仕の何たるかを理解すべく、御努力頂くことも意義あることではないでしょうか。
どうぞ宜しく願い申し上げます。

2013～14 年度国際ロータリー第 2560 地区 第 1 回ロータリー財団セミナーを終えて

国際ロータリー第 2560 地区
ロータリー財団補助金委員・担当幹事
須貝 隆 (中条胎内 RC)

2013 年 8 月 24 日(土) 新潟市万代シルバーホテルで地区財団セミナーが開催されました。
セミナーの進行は第一部、各小委員会の財団の現状・方針説明。

第二部、7 箇所の分区毎のワークショップ。今回は初めてのケースとして二部構成によるセミナーを実施しました。

セミナー開催に先立ち、準備委員会を開き、参加ロータリアンへの「財団活動への理解の推進」「忌憚のない意見の醸成」を如何に創り上げるか? 渡辺敏彦財団委員長を中心に推考を重ねました。

第一セッションは、「財団寄付金の種類と行方」「グローバル補助金」など初めて財団委員を経験した方には難しいテーマではありましたが、各担当小委員長の経験を生かしたプレゼンテーションが行われ、理解・興味が深まったと確信しております。

第二セッションのワークショップは「財団に関する 12 の質問状」を各クラブに送付し、事前に財団の要諦を意識してもらえる様に工夫しました。これにより「地区財団の方針への協力」の輪が広がった事。「今後の啓蒙活動」に必要な点も浮き彫りになった有意義なセミナーであったと思います。

最後に私事ではありますが、過日行われた、2014～15 年度派遣の財団奨学生の選考会で応募した学生諸子の「応募理由」を拝聴し、その純粹且ひたむきな心情に触れ、目頭が熱くなった事に思いを寄せ、残された職務を全うするつもりです。



米山奨学生交流会に参加して

奨学生カウンセラー

武田 真(水原RC)

去る8月31日、米山奨学生とカウンセラーの交流会が実施された。当日は山崎ガバナーをはじめ大橋委員長のもと、奨学生とカウンセラー34名と米山奨学委員会等の役員総勢49名、バス2台の日帰り研修である。奨学生は台湾、中国、ベトナム、モンゴル、韓国マレーシアなどの学生たちであり、これほどの多国籍の人たちと行動を共にすることは私にとってもはじめての経験である。天候が心配されたが雨の予想が見事にはずれ、晴天に恵まれた中で一路、南魚沼市に向けて出発した。

車中ではそこかしこに賑やかな会話が弾み、添乗員で新潟南ロータリークラブ片桐さんのトークに爆笑しながら稲穂が色付きはじめた田園風景を堪能しつつ、最初の目的地である曹洞宗の名刹、雲洞庵に到着した。鬱蒼とした樹齢400年を越える巨木の生い茂る一万坪の境内の参道を進むと、十四間の本堂の伽藍が現れ、その荘厳さに一同こころを洗われながら静寂な空気に包まれて参拝させて頂いた。上杉景勝、直江兼続などのゆかりの寺でもあり新潟の歴史の一端に奨学生が触れてもらうにはとてもいい旧跡地である。散策ののち今度は八海山・泉ビレッジへ。そこでは楽しい昼食タイムが待っていた。さっそく地ビールや日本酒八海山などを片手にみんなで乾杯。交流の熱気にバーベキューの鉄板の熱さが加わり会場はヒートアップ。そこに冷たいアルコールは最高ののど越しと満腹感を与えてもらった。各テーブルでは記念撮影や会話が済み、忘れられない楽しいひと時を過ごした。

午後からは、八海山醸造第二浩和蔵に向かう。そこでは雪室を利用した目を見張る近代的な建物。小出の地にこんな素晴らしい施設があるとは知らなかった。日本酒八海山をはじめ新潟県の厳選された食材や使いやすそうな食器、台所グッズなどなど、新潟の食文化に対するこだわりの品々が多数販売されている。これには参加者もお土産として手に取りながら満足な買い物できたようである。

最後の見学場所は、私も以前から拝観したかった越後の名匠・石川雲蝶の代表的な作品のある西福寺・開山堂。禅宗佛殿構造の建築様式をもつ開山堂の荘厳は、鮮やかな極彩色につつまれた曹洞宗の開祖道元禅師の故事に由来する彫刻群で埋め尽くされている。その作品はまさに圧巻であり、奨学生もその素晴らしさに感嘆していた。芸術に対する美意識は国籍を問わず、観るものすべてを魅了する雲蝶の代表作品である。そして、予定通り日程を終えて、一同帰路に。帰りの車中ではさすがに充実した一日を過ごしたためか、私は心地よい眠りに誘われて思い出の地をあとにした。

私はカウンセラーになって今年で2年目。去年は都合により参加できなかったが、今年は念願の参加であった。最後にロータリーに入会して、このような外国人奨学生との交流という貴重な経験をさせて頂いた。そのことに心より感謝し、この筆を置きたい。



佐々木ガバナー・エレクト事務所開所式

国際ロータリー第 2560 地区
2014-2015 年度 地区幹事
目崎 幸則 (小千谷 RC)

佐々木ガバナー・エレクト事務所は、去る 8 月 1 日に事務机、通信機器等を備え、事務所をスタートいたしました。そして 9 月 1 日(日)には小千谷市のホテル千景で、事務所開所式を行いました。

式は、はじめにガバナー・エレクトより 1 年間のガバナー・ノミニー活動内容の報告があり、さらにロータリーへの思いを語られました。

続いて山崎ガバナーからご来賓を代表して励ましのお言葉をいただき、鈴木直前ガバナーからも「万全を期して応援するよ」という祝辞をいただきました。

また中條パストガバナーからは、心温まるロータリーへの思いとエレクトへの期待、応援のメッセージをいただき、ガバナースタッフと事務局員の紹介の後、植木パストガバナーの乾杯のご発声にて祝宴に移りました。

当日はガバナー、パストガバナー、ガバナー・ノミニー、3 年度地区幹事、財務委員の皆様、ガバナー補佐、各委員会委員長、担当幹事の皆様、さらに四大大会実行委員長、第 6 分区分会会長・幹事様等、総勢 50 名以上となりました。

祝宴は和気藹々の中にも賑やかに行われ、芸子さん方にも張り切ってもらい、最後には東山パストガバナーの締めにて滞りなく楽しく終了することが出来ました。

事務所は開設しましたが、準備万端とはいえず全てこれからという感じであります。しかし山崎ガバナー、鈴木直前ガバナーには何かにつけ、ご配慮、ご指導をいただいております、第 6 分区分の皆様にもご協力、ご支援をいただきました。ほんとうに心強く思っております。

事務局員は 2 名体制ですが、スムーズに運営されるよう努力いたしますので、クラブ事務局はじめ皆様のご協力をお願い致します。

今後、不十分なところがいろいろあるかと思われませんが、各クラブのご協力、ご支援を切にお願い申し上げます。



第2分区 IM「わがクラブの奉仕活動」報告

国際ロータリー第2560地区
第2分区ガバナー補佐
新保 清久（新潟万代 RC）

第2分区のIMが新潟万代RCの担当で9月7日(土)午後1:30から150名のご参加で新潟市内のホテルオークラで開催されました。お忙しい中、山崎ガバナーからもご臨席していただきました。

今年度の第2分区IMは、「わがクラブの奉仕活動」をテーマに、分区内のクラブがそれぞれ独自で行ってきた奉仕活動の一端を他クラブに紹介する場としました。

発表者は、新潟クラブ、新潟東クラブ、新潟南クラブ、新潟西クラブ、佐渡南クラブ、新潟北クラブ、新潟中央クラブ、新潟万代クラブの8クラブ。

各クラブの代表者から約10分間という短い時間ではありましたが、海浜清掃、植林・植樹等の緑化活動、少年野球大会、養護施設への支援等々それぞれのクラブが行ってきた多方面にわたる社会奉仕活動の様子や、会員増強に成功しているクラブ奉仕活動についても貴重な報告をしていただきました。

各クラブとも簡潔にまとめて頂き、参加者から大変分かりやすかったと好評をいただきました。第Ⅱ部の懇親会では、おいしいお酒とお料理だけでなく、アトラクションのロータリークイズ大会でも盛り上がり、自クラブだけでなく他クラブの会員とも大いに親睦を深めることができました。

最後になりますが、山崎ガバナー始め多くの会員のご出席に感謝しますとともに、発表者の皆様には大変ご面倒をかけたこととお詫び申し上げます。

また、準備に時間をかけて素晴らしいIMにしてくれた万代クラブのIM実行委員各位並びに一丸となって協力してくれた万代クラブの皆様にご心より御礼申し上げて第2分区IMの報告とさせていただきます。



第5分区I・Mが楽しく賑やかに開催！

国際ロータリー第2560地区
第5分区 ガバナー補佐
小林 勇(柏崎中央RC)

9月7日、柏崎メトロポリタン松島に於いて恒例の第5分区I・Mが柏崎中央RCをホストに開催された。これには山崎堅輔ガバナー、鈴木重孝パストガバナー、記念講演の渡部翔子先生を来賓としてお迎えし、10時半に第一部が開会された。

冒頭、ホストクラブ吉越俊昭会長は200名の登録を頂いた第5分区の各会員に歓迎の意を表した。

小林勇ガバナー補佐は、今日のI・Mは全てに於いて楽しんで元気が出る内容として開催していることを強調し、情報交換と友情拡大の一日にと望んだ。

挨拶に立った山崎ガバナーは、INTERCITY・MEETINGの語源に触れ、今日の会合が第5分区各クラブにとって意義のある一日に、と指導激励を頂いた。

続いて記念講演に入り、現在日本三代芸妓の一つである古町芸妓をテーマとした映画製作に取り組んでいる若き女性映画プロデューサーの渡部翔子先生より「日本初！日米合作映画で地域振興」と題してご講演。新潟の文化、景色、食などハリウッドでの最新設備で撮影して世界に発信するという希望溢れる内容に参加者も大いに関心を持って拝聴した。

第一部の最後には、次期開催ホストクラブである長岡ロータリークラブの佐藤現会長、和田次年度会長、南雲ガバナー補佐エレクトがアピールを行った。第二部は、オープニングとして元気いっぱいの「東京ガールズ」5名によるチアリーディングにより会場一体となった盛り上がりでスタートした。

乾杯の後、柏崎中央RCのメンバーによる特別料理として「全国どんぶり選手権」で見事グランプリを獲得した「鯛茶漬け」を、実際の中心メンバーである中央RCの割烹を営む若手会員2名を中心に会場へと振る舞った。他にも鯛笹めし、同会員がバーテンダーとなって作るカクテルなど様々なオプションで参加者をもてなし、いずれも「おいしい」と評判であった。

宴は地元バンドによるビートルズナンバーをBGMとしながら賑やかに会話も弾んで、分区内の懇親を大いに深めることが出来た。

吉田副実行委員長の閉会挨拶の後、恒例の「手に手つないで」の大合唱にて閉会。途中退場者も無く、最後まで楽しんでいただいたI・Mでした。

ご参加いただいた第5分区内ロータリアンに心より感謝いたします。



帰国報告会・受入学生説明会 開催報告

国際ロータリー第 2560 地区

青少年交換委員長

倉茂 章(頸北 RC)

青少年1年・夏期交換学生帰国報告会及び1年受入学生オリエンテーションが、9月8日(日)まちなかキャンパス長岡にて、山崎ガバナー、佐々木ガバナーエレクトをはじめ総勢41名の参加者で開催されました。

帰国報告会では、先ず、今年度ドイツに短期交換留学を終えた4名の学生より帰国報告がされ、その後、1年交換帰国学生3名より報告がありました。それぞれに、成長した姿をみせられました。特に、1年交換帰国学生には、各段に向上したプレゼンテーション能力に感心させられました。この学生たちは、今後、青少年交換学友(ROTEX)として、ロータリー活動に関わっていくことになります。留学を単なる良い思い出だけにせず、「超私の奉仕」の精神を我々と共に学んでいく機会として活動をさせていただきます。

受入学生オリエンテーションでは、今年度ブラジルから来日の新発田ロータリークラブがホストを務めるメリッサ・ナオミ・ハセガワさんより自己紹介があり、その後、交換学生心得の説明、ホスト関係者への説明を行いました。交換学生心得では、ロータリー青少年交換は単なる語学研修や観光旅行ではなく、親善大使としての役割があることを確認しました。

また、ホスト関係者へは、ホストファミリー任せにせず、クラブ全体としてこの事業に取り組むことの大切さについて申し上げました。

ロータリーの青少年交換は、学生の命を預かる大きな責任を伴う事業です。そのため危機管理も厳格に行われます。この事業の参加者は煩雑な事務作業も伴い、関係者のご苦勞は大変なものがございます。まさに「超私の奉仕」を実践されている方々です。“He Profits Most Who Serves Best.”(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)ロータリーの公式標語にもありますが、この尊い奉仕活動から大きな収穫が得られることを祈念し、報告とさせていただきます。





2013年9月12日発行【月刊】
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 162

1 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べ1.7%増（普通寄付金1.6%増、特別寄付金1.9%増）、約480万円の増加となりました。大口寄付者の方をはじめ、多くのロータリアンの方々からの寄付に感謝申し上げます。

来月10月は米山月間です。米山へのご寄付は確定申告の際に「所得控除」もしくは「税額控除」のどちらか有利な方式を選択することができます。さらに、普通寄付金分もクラブ事務局から会員氏名等のデータをお送りいただければ、申告用領収証を送付いたします。申請方法は当会ホームページをご覧ください。今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会 開催報告

第五回理事会が8月23日に、また、第三回定時評議員会が9月4日に、それぞれ都内ホテルで開催されました。

第五回理事会 議長：板橋敏雄理事長

出席者：理事32人、監事：2人

【主な議題】2012年度事業報告・計算書類等の承認、2013年度収支予算書一部修正の件、委員会委員選任の件など：承認

第三回評議員会 議長：上野操評議員

出席者：評議員27人 常務理事・監事9人

【主な議題】理事の選任、評議員補欠選任、2012年度計算書類承認および監査報告の件など：承認

なお、9月4日の評議員会の前には、“よねやま親善大使”の尤銘煌さんと楊小平さんの活動紹介ビデオを上映し、お二人から自己紹介のスピーチをしていただきました。



3 ガバナーエレクト研修セミナーで米山をPR

次年度ガバナーを対象とするガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が9月3-4日、都内で開催され、3日の本会議において板橋敏雄理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、同日の「配偶者プログラム」では、米山学友を代表してよねやま親善大使の楊小平さん(中国/2011-12/東広島21RC)が20分間のスピーチを行いました。

楊さんは時折ユーモアを交えながら、現在も続けている広島平和記念資料館のピースボランティアガイドや、自身で企画した中国への平和スタディツアーなどの活動を紹介。米山奨学金のおかげで学位を取得できただけ



でなく、このような活動につながる「奉仕の精神」をロータリアンから学ぶことができたこと、ロータリーへの深い感謝を述べました。

「教育の大切さを日本の社会から教わりました。将来は大学の教員となって、そこから新しい先生を育てたい」と、スピーチを結んだ楊さんに、会場から温かい拍手が贈られ、セッション終了後は、楊さんを囲む談笑の輪ができました。



4 台湾学友会による日本人対象奨学金 第5期生が決定

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）が恩返しの気持ちから始めた「日本人若手研究者奨学金」が5年目を迎えました。当会ホームページを通じて行った第5期生の募集には9人の応募があり、台湾米山学友会理事会による厳正な選考の結果、このたび以下の合格者2人が決定しました。合格したお二人には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約84,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



市川 のぞみさん

国立台湾藝術大学大学院博士課程2年に在学中。専門は書画芸術。将来は大学で教鞭を取り、日台両国の芸術や史学を学ぶ者の懸け橋になりたいと希望している。



井本 颯司さん

今年9月から国立台湾藝術大学大学院修士課程に入学。専門は音楽（ピアノ）。将来は音楽教育と演奏活動を通じて、台湾と日本の文化交流に貢献することが夢。

5 クラブ米山委員長セミナーを初開催！ — 第2690地区 —

第2690地区初のクラブ米山奨学委員長セミナーおよび奨学生・学友親睦会が、森本ガバナー、葛尾米山記念奨学会理事、伊藤米山記念奨学会評議員及び地区米山奨学委員などの出席のもと、「岡山エリア」（8月25日）と「鳥取・島根エリア」（9月8日）に分けて開催されました。3県を擁する同地区は、特に鳥取・島根エリアでこれまで奨学生と学友が一同に会する機会がなく、今回、同地区米山奨学委員長の治郎丸清志氏が名簿をたよりに世話クラブ・カウンセラーに連絡を取り、かつて世話をした学友の所在確認と親睦会の案内をしてもらうよう協力を求めました。その結果、岡山で20人、松江で



は17人の奨学生・学友が集合。「奨学期間が終わって初めてこうした集まりに参加できて本当に嬉しい」と、学友たちは口々に喜びを表しました。8月25日には、よねやま親善大使の楊小平さんと、岡山県立大学大学院在籍中のアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん（2001-02/鈴鹿西RC）もゲストスピーカーとして参加。9月8日には再び楊小平さんと、当会武本事務局員がスピーチを行いました。森本ガバナーは「地区が本気になって取り組めば、クラブや学友も協力してくれる。学友会の活性化が難しい地方でも、行動と気持ち次第で成果を出すことができるということを示したい。重要なのは、継続すること」と、今後の意気込みを語りました。

米山月間資料のお知らせ

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月20日発送予定）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。ガバナー、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

- ①豆辞典（必ず会員のみみなさまへ配布してください）②クラブ米山記念奨学委員長の手引き
③寄付金マニュアル ④事業報告書 ⑤事業報告書 統計・資料編 ほか

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・峯

平成 25 年 9 月 25 日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 戸田一誠

拝啓

初秋の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。

このたびは、下記11点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。

なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (313号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された 皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

- ◎ 「われらは地球の相乗り客」 ジョージ・ミーンズ 1970 1 (D.365月信)
- ◎ 「どこに差があるか？」 ジェームズ・コンウェイ 1970 1p (D.365月信)
- ◎ 「ロータリーの魅力は童心と微笑」 塚本義隆 1970 1p (D.365月信)
- ◎ 「ホームクラブへ出席がなぜ大切」 塚本義隆 1970 1p (D.365月信)
- ◎ 「ロータリーの目的は4つある？」 本田博己 2013 2p (D.2840月信)
- ◎ 「『奉仕の理想』ってどういう意味？ そして、『超我の奉仕』とはどういう関係？」 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- ◎ 「職業奉仕とロータリーの魅力」 大迫三郎 2013 2p (D.2730月信)
- ◎ 「会員増強月間」 沖田哲義 2013 1p (D.2710月信)
- ◎ 「幹事心得10箇条」 岡村泰岳 2013 1p (D.2720地区協議会プログラム)
- ◎ 「ロータリー徽章に隠された秘密」 山本正治 2013 2p (ロータリーこぼれ話)
- ◎ 「国際貢献と二つの奉仕理念」 石井良昌 [2013] 9p (2680地区研修セミナー講演集)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時

休館=土・日・祝祭日

第2560地区 2013-14年度 8月末 会員数および出席報告

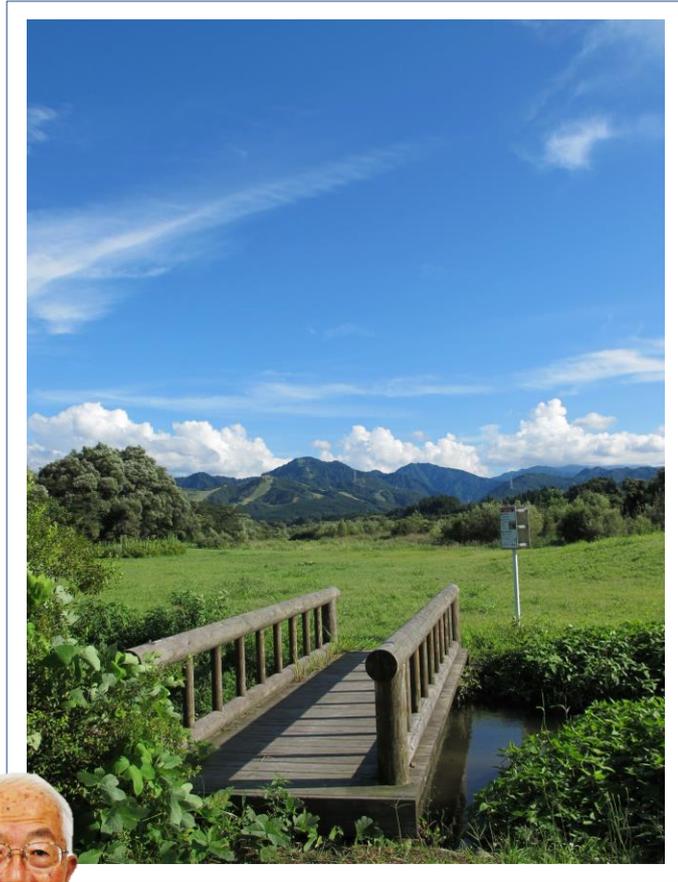
R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	86.93	345	346	35	1
新発田	3	97.15	85	85	0	0
村上	4	78.91	32	32	6	0
水原	3	82.10	26	26	1	0
中条	3	86.46	31	32	3	1
新発田城南	4	87.10	42	42	6	0
豊栄	3	92.30	26	26	4	0
新発田中央	3	90.54	50	50	5	0
中条胎内	4	84.49	29	29	5	0
村上岩船	3	83.33	24	24	5	0
第2分区(9クラブ)	／	85.55	405	421	17	16
新潟	3	88.62	83	89	0	6
新潟東	4	86.09	53	54	4	1
新潟南	3	81.95	85	90	0	5
佐渡	4	87.50	12	12	0	0
新潟西	4	83.84	32	33	1	1
佐渡南	3	80.57	42	44	5	2
新潟北	3	80.06	36	36	0	0
新潟中央	3	92.75	23	24	1	1
新潟万代	3	88.60	39	39	6	0
第3分区(6クラブ)	／	81.58	138	138	8	0
新津	3	70.52	25	26	1	1
村松	3	80.00	9	9	0	0
五泉	3	87.83	21	21	3	0
白根	4	81.40	43	43	2	0
新津中央	3	82.23	31	30	1	-1
阿賀野川ライン	3	87.50	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	／	82.18	352	357	17	5
三条	3	81.28	54	56	0	2
燕	4	69.29	25	27	0	2
加茂	4	78.12	31	32	5	1
三条南	3	92.58	44	43	0	-1
分水	3	78.16	29	29	2	0
見附	4	80.00	18	18	1	0
吉田	4	87.80	33	33	1	0
三条北	3	81.69	71	71	3	0
巻	3	83.30	11	11	0	0
田上あじさい	3	77.70	6	6	1	0
三条東	4	94.07	30	31	4	1

R C	例会数	出席率	7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	88.41	300	306	30	6
長岡	3	90.12	37	40	2	3
柏崎	3	94.33	47	47	0	0
長岡東	3	88.24	63	65	7	2
柏崎東	3	96.97	44	44	4	0
栃尾	3	72.00	25	25	0	0
長岡西	3	87.31	44	45	5	1
柏崎中央	3	89.89	40	40	12	0
第6分区(6クラブ)	／	83.47	148	148	6	0
十日町	4	91.93	32	32	0	0
小千谷	4	86.84	38	38	3	0
雪国魚沼	3	72.20	21	21	1	0
十日町北	3	93.93	22	22	1	0
津南	4	80.21	24	24	1	0
越後魚沼	3	75.70	11	11	0	0
第7分区(9クラブ)	／	82.89	302	302	27	0
高田	4	92.19	58	58	1	0
直江津	3	76.35	37	36	2	-1
新井	3	83.33	29	30	3	1
糸魚川	4	79.83	36	37	1	1
妙高高原	3	100.00	4	3	0	-1
高田東	4	77.62	38	38	3	0
糸魚川中央	4	78.91	33	33	0	0
頸北	3	76.20	15	15	1	0
越後春日山	4	81.55	52	52	16	0

クラブ数	57 クラブ
7月1日 会員数	1,990 人
8月末 会員数	2,018 人
女性会員数	140 人
純増減会員数	28 人
当月平均出席率	84.41 %



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F
TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp